

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	お客様の様子	・取引先の中で愛知万博の影響をあまり受けていないところは堅調に推移しており、売上が前年に比べて増加しているところもある。
		スーパー（店長）	それ以外	・8月はうなぎのかば焼きやすぐに食べられる焼き魚など、高額でも良質の商品に顕著な動きがみられた。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・パソコンは金額ベースで前年並みながら、台数ベースで前年比120%と動きが良くなってきた。テレビは薄型の37インチ以上の構成比が高くなり、単価の上昇により金額ベースで前年比2けた増と好調である。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・予約や団体貸切りなどの動きもあり、売上は前年の約2割増となっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・8月は真夏日が続くなど暑い日が多く、また夜の繁華街でも人出が多かったためタクシーの利用が増えた。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・夏のイベントを開催したが、集客は少なかった。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・特売をかけて来店頻度を上げる努力をしているが、来客数にあまり変化がない。
		一般小売店〔書籍〕（店長）	販売量の動き	・来客数は横ばいであるが、客単価が低下し、売上がやや下向きとなっている。
		一般小売店〔事務用品〕（営業担当）	単価の動き	・商談の数が少ないうえに、価格競争が激化しており、事務機器では3、4社のし烈な戦いが続いている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・8月上旬は衣料、雑貨などの夏物バーゲンが前年に比べて2けた近い伸びをみせたが、中旬から急にトーンダウンした。客は月の前半に欲しい物を購入したが、後半は特にファッション関係で不必要なものは買わないという態度がみられた。一方、産地や上質へのこだわりから食や暮らし関連の商品は相変わらず好調に推移している。小売全般では、夏物ファッションの動きがやや鈍化した。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・8月半ばから高温の日が続き、盛夏物の需要が多かったため、前月まで好調であった晩夏、初秋物の正価販売商品の動きが止まり、苦戦した。売場では秋色夏素材のファッションを展示するなど、天候の変化に悩まされている。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数は変わらないが、客単価が下がっている。特に買上点数が減少している。
		スーパー（副店長）	単価の動き	・夏物バーゲンの時期においても、客は購入前に商品をより吟味するという傾向が依然として強い。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・周辺に同系列のコンビニがオープンしたため、来客数や売上が前年同月並みに落ちてきた。	
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・客は商品によって購入時期や予算などでより厳しい態度をとっており、すぐに必要でないものや何とか使えるものは、こちらから仕掛けてもほとんど動かない。	
	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・広域チラシの折込やテレビCMなどを活用しているが、前年並みの来客数を維持することは厳しい状態である。	
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	単価の動き	・競争が激しいため、ガソリンの仕入価格高騰分を価格に完全に転嫁することができず、また値上げの時期も遅れている。	
	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・会合や接待が少ない夏場において、和食店は例年よりもさらに来客数が伸びない。例年を上回ったのは前年比105%のステーキ専門店だけであった。また、7月には小型の姉妹店を繁華街に開店したが、予想を上回る集客が続いている。	
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・愛知万博への旅行の売上がなかなか上がらない。また、北陸の旅館にとって愛知万博は冷え込みの一因となっている。	

		通信会社（社員）	販売量の動き	・携帯電話の販売台数の純増数にあまり変化がない。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・来場者数は前年並みであるが、客の会場でのお金の使い方がさえない。
		パチンコ店（店員）	来客数の動き	・売上、粗利とも増加しているものの、前年比では下回っている。
		競輪場（職員）	単価の動き	・1人当たり売上単価は4%上昇したが、1開催当たりの平均入場者数はやや減少した。これは夏休みで家族連れの旅や行楽が多く、他のレジャーにシフトしたためとみられる。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・売上の良い月があっても、翌月には大幅ダウンとなる傾向が長く続いている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・リフォーム部門はイベントの集客を含めて非常に好調である。また、ほとんどが自己資金のため、金利や税制面での問題もなく、しばらくはこのような状況が続く。
やや悪くなっている		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・クールビズで、男性のファッションに対する意識変化が一部にみられたが、男性ファッション全体に対する興味ではないため効果には限界がある。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・買上客数が前年の97%と前年割れで推移している。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・特に若いファッション関係の売場では、客が秋物の立ち上がりを見て、自分の好きなブランドがあれば購入するものの、そうでない客は下見の状況のまま慎重な態度をとっている。ファッション全体では秋物のトレンドの打ち出しは若干あるものの、まだ買上につなげていない。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・8月は天候にも恵まれ、気温も高く推移したため、飲料やアイスクリームなどが前年に比べてかなり伸びた。しかし、客は必要なものしか買わないため、客単価は前年を割っている。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・今月も売上が前年比で5%減少した。弁当や総菜などの食品以外の商品の単価が低下したため、来客数が変わらないにもかかわらず、売上が前年割れとなった。
		住関連専門店（店長）	お客様の様子	・来店客は商品の下見はするものの、購入に結び付かないケースが多い。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・愛知万博の影響が出ている。14名以下のグループの来客数が減少したことが大きい。15名以上は前年並みに推移している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・レストランの通常営業の利用客と、ASEAN諸国からの旅行者を積極的に取り込んだ宿泊部門は前年を上回っているが、一般宴会の伸び悩み、婚礼受注件数の落ち込みなどにより減収となる見通しである。3か月前に比べ、一般宴会の伸び悩みによる減収が大きい。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・愛知万博の開催や中部国際空港の開港など、話題が他の地域に向けたため当地への観光客が減少しており、来場者数は前年に比べて1割以上の減少となっている。
	悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・空店舗は春先に減ったが、最近また増えてきた。従来は、郊外や他の都市への移転が原因であったが、最近では売上不振からの廃業による閉店が多い。
企業動向関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般機械器具製造業（経営者）	それ以外	・受注量、価格、取引先・競争相手の様子など、いずれの面でも上昇傾向にある。特に価格面では値戻しが件数ベースで半分を超えた。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・注文の決まり方が相変わらず期近であり、取引先では在庫を増やしたくないとの意識が強い。
		電気機械器具製造業（経理担当）	競争相手の様子	・弱電業界では在庫調整がほぼ終了したようであるが、新製品のヒットがないため、生産量の増加とはなっていない。
	精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・眼鏡産地では少数のいわゆるニッチ企業が好調な反面、大多数は依然として厳しい状態が続いている。	

	建設業（総務担当）	競争相手の様子	・受注価格競争は依然し烈で、見積件数は増加傾向にあるものの、受注成約は厳しい状態にある。型枠、鉄筋、内装などの協力業者では多忙な状況が見受けられ、手配が難しくなっている。	
	輸送業（配車担当）	受注価格や販売価格の動き	・荷量は若干増加しているが、価格は上昇しない。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・製造業の取引先から「受注は順調で忙しいが、原材料価格の上昇で利益率が悪化している」という声が聞かれる。工場労務員派遣業の取引先でも受注は引き続き順調である。	
	司法書士	取引先の様子	・個人の債務整理の相談は激減しているが、中小企業の債務整理の相談が増加している。 ・不動産登記でも、商業登記の分野でも、新しい事業展開に伴う案件に関する相談等がみられない状態である。	
	やや悪くなっている	食料品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量は前年より若干上回っているものの、原油高騰による関連素材の値上げ、当社製品の原料高騰など軒並みの値上げが続くなかで、販売価格が希望どおりの上げ幅に至らないため、収益が悪化している。
	悪くなっている	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新規製品の受注量が減少している。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・公共土木工事の経営者と新分野進出について話し合ったが、5社のうち2社は受注工事がほとんどなく、従業員を半数以下に減らし、新分野どこか廃業を考えている。農業や民間工事へ積極的に進出を図っている会社もあったが、全体的には縮小思考の経営者がほとんどである。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者数が減少、求人数が増加傾向で推移し、有効求人倍率も前月に比べ0.02ポイントのプラスとなっている。求職者のうち雇用保険受給者が毎月5%前後減少しており、離職前の求職活動が増加している。
		民間職業紹介機関（経営者）	周辺企業の様子	・自動車メーカー向けの大型機械等を中心に受注が好調な工作機械メーカーから派遣の要請が来ている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・依然として派遣、契約、嘱託などの取扱が多い。
		人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・求人企業が求めるスキルを持ったスタッフの確保は依然として難しく、ミスマッチが続いている。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・8月の売上は前年の60%と大幅に落ち込んでいる。
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・8月の求人広告は前年同月比で2割強減少している。